A middle-aged man with short dark hair and glasses is shown from the chest up, wearing a dark blue suit jacket, a white shirt, and a grey tie. He is seated and appears to be in the middle of a conversation, with his mouth open and hands gesturing. The background is a softly lit office space with a bookshelf filled with books and papers.

伊豆 仁志

副学長（財務基盤強化） / 事務機構長

【第60回】

大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム
「教育機関DXシンポ」

東北大学 DX

検索



東北大学における業務のDX推進

TOHOKU
UNIVERSITY

藤本 一之

国立大学法人東北大学
情報部デジタル変革推進課



大学のあらゆる活動
全方位DX

01
Technology



3つの基本方針

02
Organization

スピーディーで
アジャイルな
経営へ転換



03
Society

共創による成長

〔ステークホルダー
エンゲージメント〕



大野 英男 総長
2018年4月就任

先の読めない大変革時代の課題解決を先導、社会価値を創造



教育・研究・共創・経営の全方位DX

国籍・文化・価値観などの壁を
越えて世界と繋がる

分断や格差を越えて
インクルーシブに世界を繋ぐ



教育DX

AI・数理・データ科学
 オンライン国際共修
 学びのビッグデータ
 クレデンシャル革新

共創DX

データによる価値創造
 課題解決型キャンパス
 スタートアップ加速
 DX人材育成

研究DX

データ駆動型研究
 国際頭脳循環
 若手躍進イニシアティブ
 革新的研究インフラ

経営DX

業務改革
 人的資本経営
 DEI*推進宣言
 グローバル対応力

**大変革への挑戦
 社会価値の創造**

(東北大学ビジョン2030の
 加速戦略として位置付け)

*DEI = Diversity, Equity & Inclusion



東北大学 業務のDX推進体制

プロボスト・CDO
理事・副学長 青木 孝文



事務機構長 伊豆 仁志



DXチーム統括
情報部 特命課長 藤本 一之



本部事務機構 情報部 デジタル変革推進課

全学から志願し参加

学内公募による業務のDX推進
プロジェクト・チーム

東北大学オンライン事務化宣言 2020年6月

「New Normal時代のワークスタイル変革」を実現するため
全学公募により総勢51名が参画

男	女	計	平均年齢
40人	11人	51人	37.3歳





学内公募による業務のDX推進プロジェクト・チーム



東北大学オンライン事務化宣言 2020年6月
「New Normal時代のワークスタイル変革」
を実現するため全学公募により総勢51名が参画

学生へのサービス向上



教員の研究時間確保

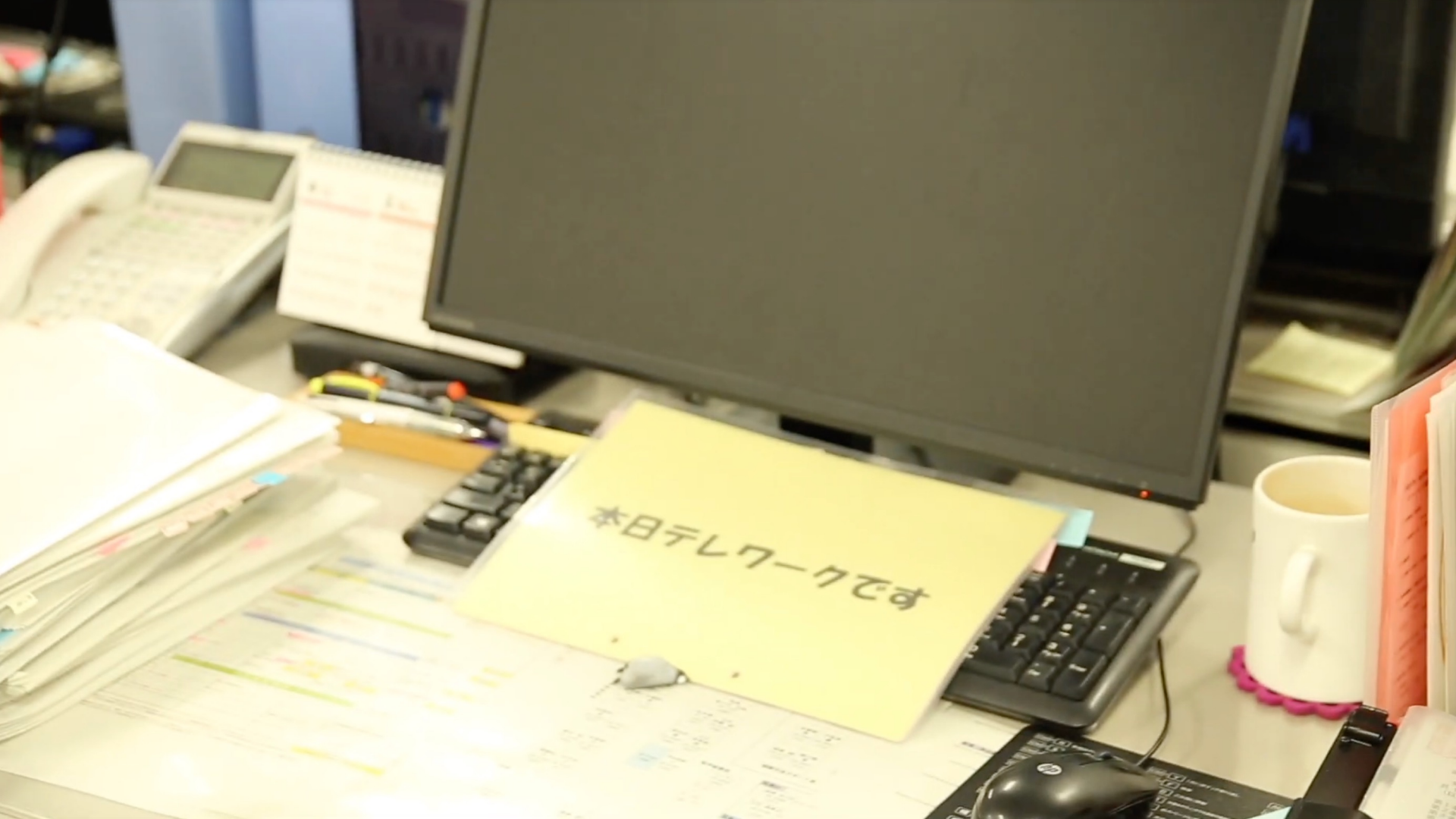


魅力ある職場環境



DXによる先導的な業務改革を短期的スパンで集中的かつ戦略的に実行し、
ニューノーマル時代に相応しい、教育・研究環境の実現と構成員にとって
魅力ある職場環境を創生する

本日テレワークです





業務のDX推進ロードマップ

2020年

2021年

経営戦略DBプロジェクト
2020.10東北大学ダッシュボード稼働



経営戦略DBチーム

2022.4第4期KPI可視化



印鑑フリーWG
2020.11学内126業務の押印廃止
2020.12文科省共済組合押印廃止



電子決裁・電子保存チーム

2021.4電子決裁開始

申請業務の電子化チーム

2022.3本部事務機構の申請手続の電子化



働き場所フリーWG
2021.3就業規則改正



電子署名チーム

2022.2電子署名ソフトウェア導入



働き場所フリーチーム (※テレワークおよびフレックス制度)

2021.4制度化 2021.8DaaS導入 2021.10Chromebook導入



窓口フリーWG
2021.3チャットボット稼働



クラウドPBXチーム

2021.10実証実験実施

2022.4全学を対象にクラウドPBXを試行



RPAチーム

2022.3全学83.7%の部署で導入、全学展開へ



窓口改革チーム

2021.10チャットボット複数稼働

2022.3リーガルフォース導入



教務事務DXチーム

2022.2 大学院入試DX (7研究科)



マイナンバーチーム

2022.1マイナポータル実験 2022.4身分証実験



潜在的業務改革チーム

2021.8潜在的業務改革229項目洗い出し



ICT研修チーム

2022.3Google Workspace研修実施



プロモーションチーム

2021.11東北大学DXナビゲーション(<https://www.dx.tohoku.ac.jp/>)立ち上げ

主要マイルストーン

- 2020年6月
オンライン事務化宣言
- 2020年7月
コネクテッドユニバーシティ戦略発表
- 2020年7月
業務のDX推進プロジェクト始動



RPAによる
業務時間削減見込（年間）

81,067 時間

2020年度比13.3倍

チャットボットによる
業務時間削減見込（年間）

6,000 時間

リーガルテックによる
業務時間削減見込（年間）

1,000 時間

企業との
コラボレーション
による実証実験

8 件※

大学院入試事務を
DXした研究科数

7 研究科

2022年3月までの
本学への取材・講演依頼

29 件

※①学生証アプリ化実証実験（NEC）②マイナポータルへの証明書送付実証実験（野村総研）③クラウドPBX実証実験（東北インテリジェント通信）
④リーガルテック実証実験（LegalForce）⑤⑥⑦電子署名実証実験（クラウドサイン、Adobe、DocuSign）⑧バーチャルオフィス実証実験（oVice）



紙は常識か？



手続きごとに
名前書くの？

去年も同じこと
聞かれたよ？

別の部署にも
同じこと聞かれたよ？

紙に書いた内容
打ち込むの？

いちいち書類
書かせるの？

デジタル三原則で 文化を変える



コネクテッド・ワンストップ

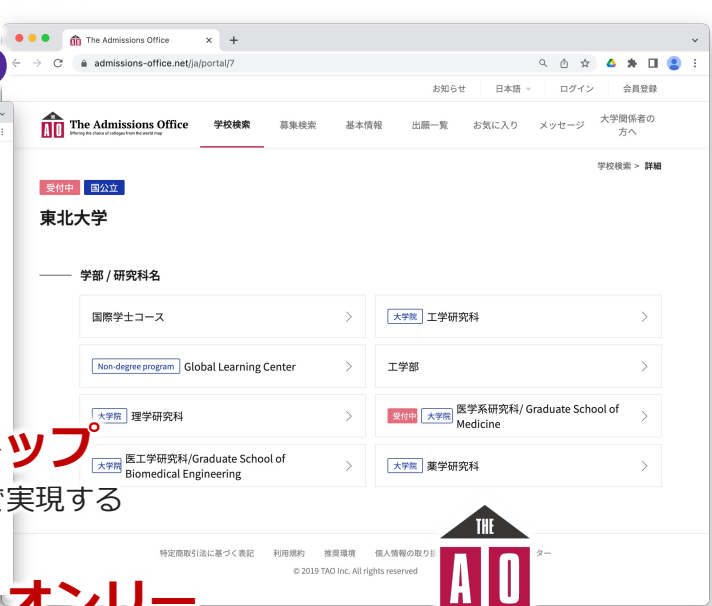
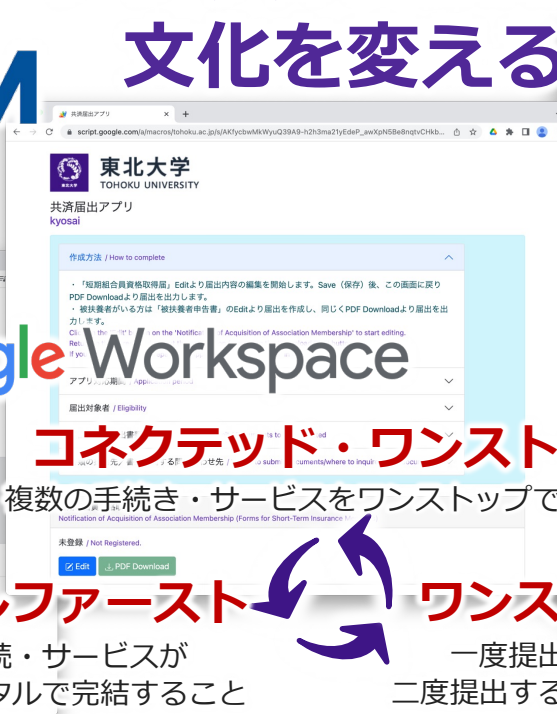
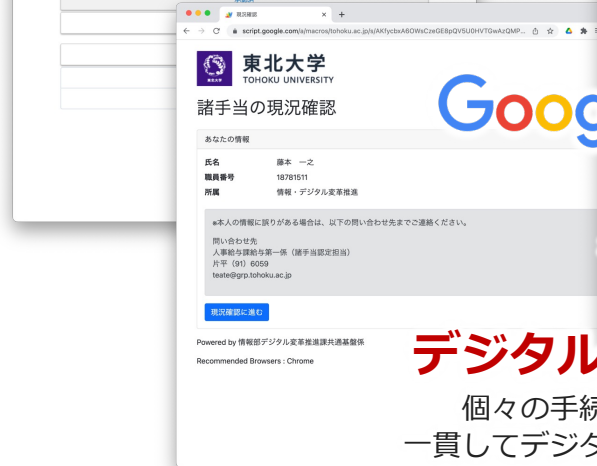
複数の手続き・サービスをワンストップで実現する

デジタルファースト

個々の手続・サービスが
一貫してデジタルで完結すること

ワンズオンリー

一度提出した情報は、
二度提出することを不要とする



The Admissions Office
Offering the choice of colleges from the world map

カードは常識か？



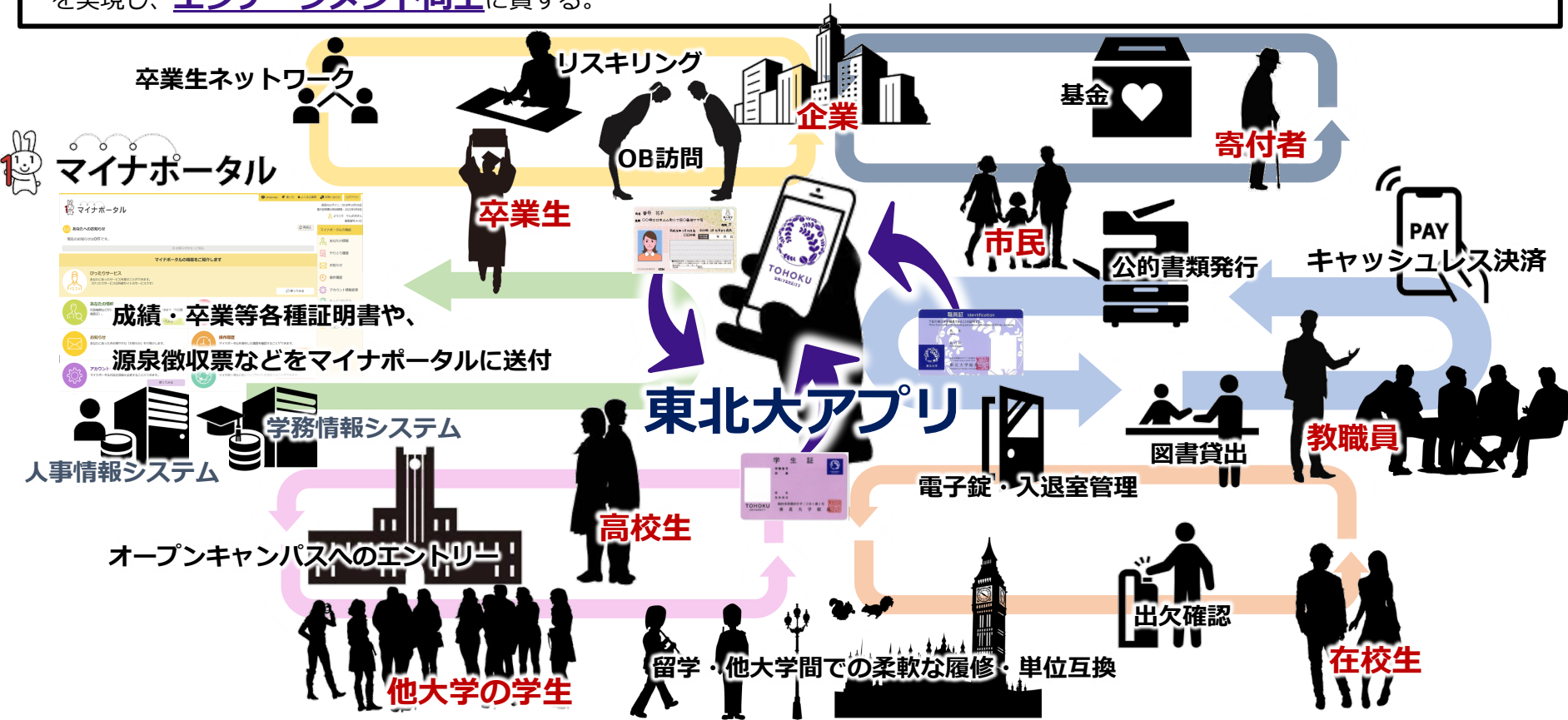


TOHOKU
UNIVERSITY

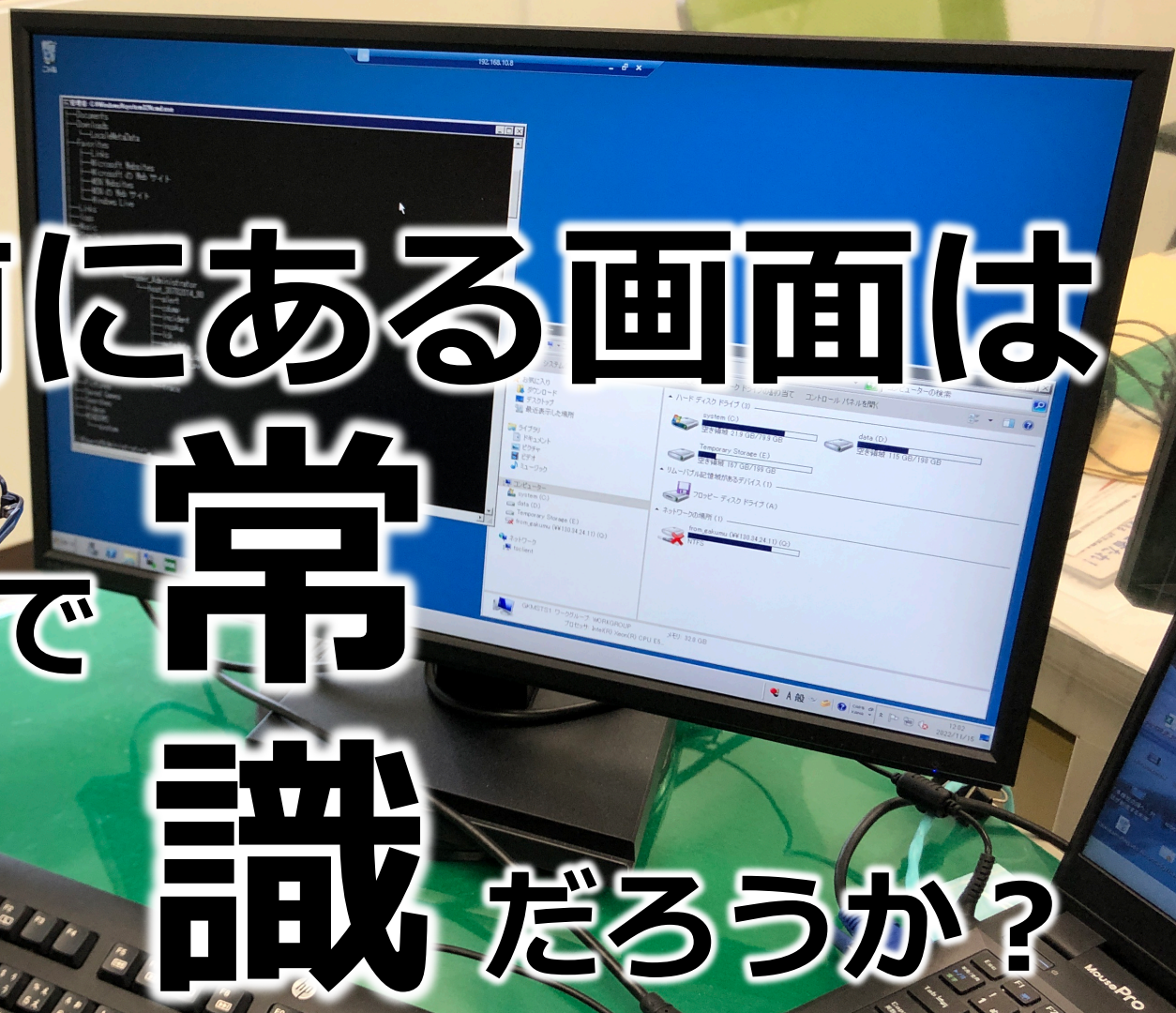


業務のDX推進プロジェクト マイナンバーチーム

東北大アプリにより、本学を取り巻く多様なステークホルダーとの**双方向のコミュニケーション**および**サービスの提供**を実現し、**エンゲージメント向上**に資する。



今日
目の前にある画面は
常識
いつまで
だろうか？





働き場所フリーチームでは、chromebook と DaaS※ の ベストミックス により テレワークのクオリティを向上 し、さらに コワーキングスペース 等、テレワークに限らない働き場所フリー を追求する

事務業務システム基盤



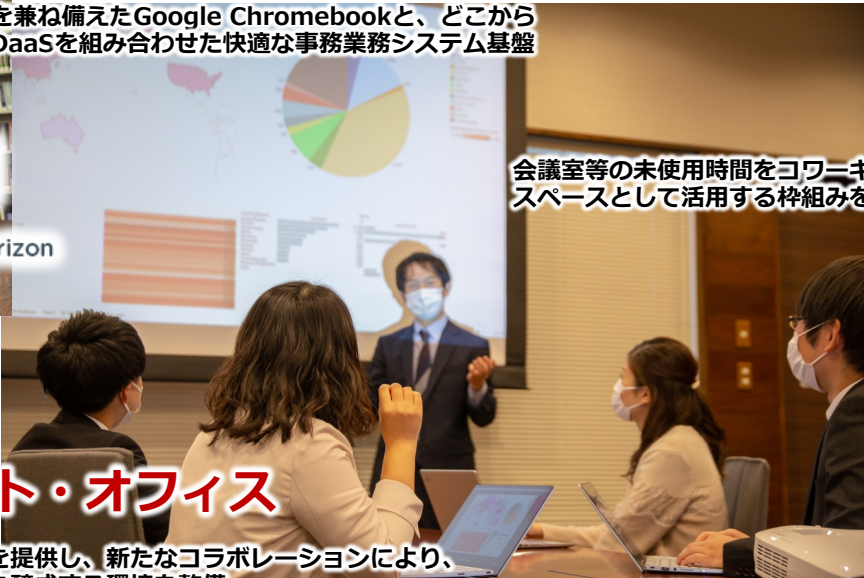
機動性と安全性を兼ね備えたGoogle Chromebookと、どこからでも接続できるDaaSを組み合わせた快適な事務業務システム基盤

Windows 10



VMware Horizon

chromebook



会議室等の未使用時間をコワーキングスペースとして活用する枠組みを整備



扉：19-40B

壁：55-50P

床木：タモ集成材+CL

カーペット：GA1753W

カーペット：GA1760

学内サテライト・オフィス

部署の枠を超えたコミュニケーションの場を提供し、新たなコラボレーションにより、職員に前向きでオープンなマインドセットを醸成する環境を整備

※DaaSとは、Desktop as a Serviceの略で、インターネット上で利用できる仮想デスクトップサービスです



業務のDX推進プロジェクト 働き場所フリーチーム

東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

お宮様様

国立大学法人 東北大学
Tohoku University

大学概要 (2016年9月現在)

- 創立: 1907年(明治40)年 6月
- 所在地: 〒980-8577
- 設置母体の所在地: 宮城県仙台市青葉区五反田
- 定員: 1,455人
- 職員: 第21代 星野 基 (2021年9月24日(木)4月1日~)
- 学生数: 17,885人
- 研究員数: 1,455人
- 導入製品 (ライセンス)
- Citrix XenDesktop
- Citrix XenApp
- Citrix NetScaler MPX

PC 資産投資と運用管理コストの削減
職員の柔軟な働き方に対応

今後のプラン:
今回構築したデスクトップ環境を基盤に、職員の柔軟な働き方に対応

今後の取り組みについて藤本氏は、「現在、東北大学では、大学院において、医師や医療スタッフの利便性向上を目的に、XenApp を利用して、診療支援端末から外部インターネットへのアクセスを分離することを検討しています」と話します。

さらに今後の展望について藤本氏は語り、「今回構築した仮想デスクトップシステムは、VPN の仕組みを結付けることで自宅など学外からのアクセスも可能になります。今後、職員のワークスタイル変革などの必要性に応じて、柔軟に対応することができると考えています。また、現在は学内外からのPCからのアクセスに制限して

約1,600名の職員向けに Windows 仮想デスクトップ環境を構築し、利便性を向上させ、業務の効率化を図ります。

人労労管
令和2年4月8日

各部局事務(部)長 殿
本部各部(課・室・センター)長 殿

人事労務課長 (公印省略)
情報推進課長 (公印省略)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針 (BCP) を踏まえた在宅勤務の活用について (通知)

この度、学内外の状況から、新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針

Windows 10

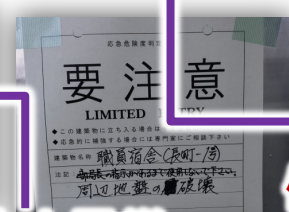
VMware Horizon

chromebook

在宅勤務の開始

事務業務システム基盤導入

仮想デスクトップ導入



東日本大震災



働き方改革関連法案



GIGAスクール構想



新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言



